

## 表彰受賞者(11名)

。大西 寛 氏

(株式会社イシダ滋賀事業所)

。奥長 千春 氏

(株式会社日吉)

。奥野 崇 氏

(近江度量衡株式会社)

。川上 奈津子 氏

(株式会社日吉)

。白石 晃浩 氏

(近江度量衡株式会社)

。林 芳和 氏

(株式会社日吉)

。樋口 智一 氏

(夏原工業株式会社)

。藤井 寛子 氏

(株式会社タケノウチ)

。藤村 政和 氏

(パナソニックハウジング)

。三好 有 氏

(株式会社イシダ滋賀事業所)

。山野 進 氏

(パナソニックハウジング)

。ソリューションズ株式会社栗東工場)

(ソリューションズ株式会社栗東工場)



謝辞 川上 奈津子 氏



表彰受賞者

## 受賞の喜び

計量関係功労者表彰の喜び

株式会社日吉

分析検査部 分析検査課

川上 奈津子



私は、日吉に入社して、十九年が経ちました。大学生の頃にダイオキシンについて興味を持ち、将来分析の仕事に携われればとの思いより志望を致しました。

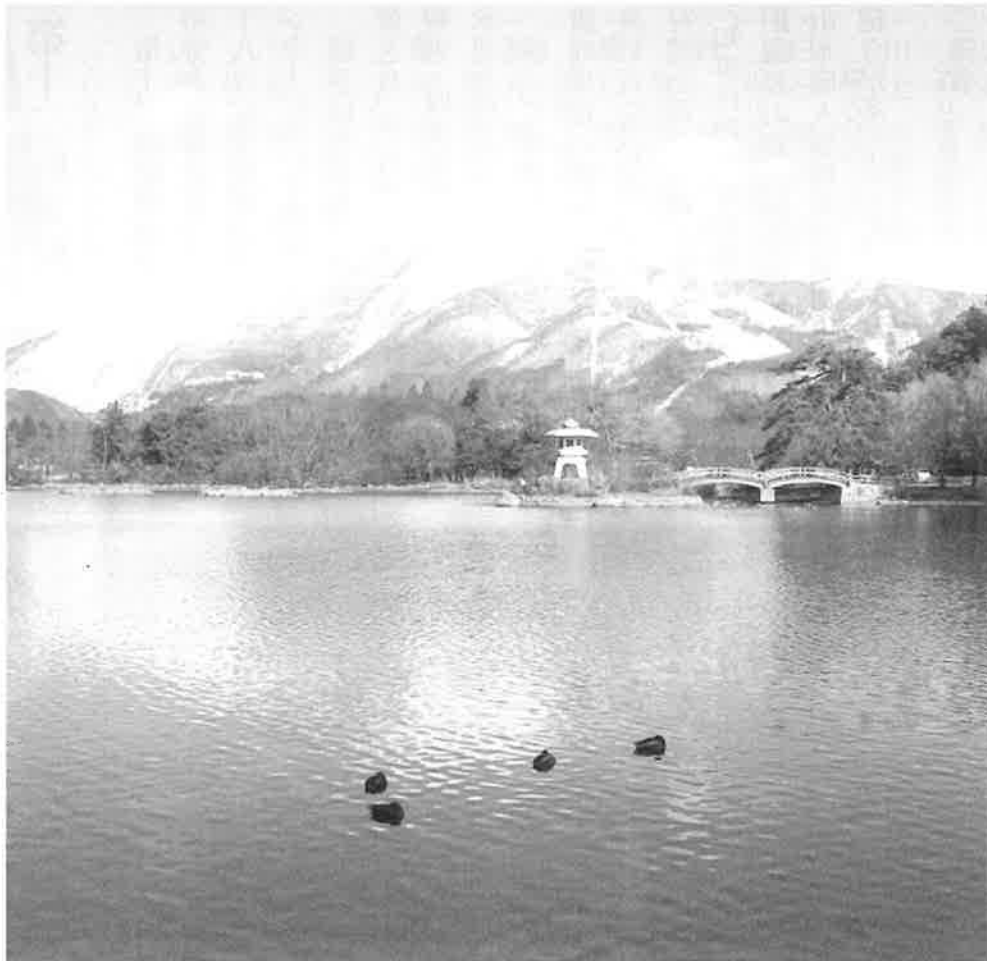
入社当時はCOD(化学的酸素要求量)やBOD(生物化学的酸素要求量)など一般項目の分析を担当しており、毎日入庫して多くの検体をいかにさばけば確実か、どのように仕事を組み合わせれば効率的か、など考えつつ時間追われながらも業務をこなしていた記憶があります。

その後クロマト分析に関連する分析に従事し、環境計量士等の各

種資格を取得し、現在は分析結果の確認・管理を行う業務に就いております。

苦労したことは、分析装置の故障やメンテナンスの対応です。様々な媒体の試料を受け入れるため、試料由来の汚染や、部品の経年劣化等による故障など、納期がある中で対応するのは難しいものでした。しかしながら、故障やメンテナンスの対応をすることで、装置の原理や、試料に対する理解などが深まっていったように思います。このような経験から、精度よく計量を行うには日々の日常点検や定期点検等の計画・実施・記録の管理の重要性について身をもって体験と理解を深めることができました。

今後も分析装置の進化が顕著かと思いますが、自動化が進むことで、手分析をしていたことと比較して、分析方法の原理の理解や、分析装置の取扱いの習熟が難しくなってきたと感じています。今後は、若手社員に対する教育に力を入れて、精度管理の重要性を認識してもらい、自身もより高度な計量技術の習得並びに指導ができるように精進してまいりたいと思います。



# 滋賀の計量

一般社団法人 滋賀県計量協会  
〒525-0022 草津市川原町149番1  
滋賀県計量検定所内  
TEL (077) 567-3978  
FAX (077) 567-3981  
<http://www.s-keiryoku.or.jp/>

## 年頭の御挨拶

一般社団法人滋賀県計量協会

理事長 田中秀康



謹んで、新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、穏やかな新春をお迎えられた事と存じます。また、日頃、行政機関の御指導をはじめ、会員の皆様方のご理解ご協力を賜わり、改めて心より感謝を申し上げます。

昨年、兵庫県で開催されました、近畿計量大会には、遠方まで、ご参加いただきましてありがとうございます。

本協会の数多くの事業活動も、ほぼ制限されることなく開催させて頂く事が出来ました。開催にあたりましては、役員の皆様方の多大なご協力を賜わりありがとうございました。

本年は辰年であります。「成功の芽が成長し姿を整えていく」年であると言われています。まだまだコロナ禍の流行や、円安での状況等で、環境の悪いことが予想されますが、本年も私も計量協会は「地域経済の発展と県民皆様の安全安心に寄与する」という理念のもと、適正な計量管理のため、今後、組織としてどのように取り組んでいくべきかにつぎまして、会員皆様方のご意見をお伺いしながら、誤りのない判断をし、又公益性、公平で中立という基本理念を重んじた協会運営を行ってまいります。

今後も「正しい計量知識の普及と適正な計量の実施が確保されることにより、経済の発展と文化の向上に寄与し、計量界の進歩発展に貢献する」という、設立当初の精神を運営の基本姿勢としてまいりますので、会員皆様方からの、より一層のご支援とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今年一年が皆様方におかれましては幸多き年でありますことを祈念し、年頭の御挨拶とさせていただきます。